

C'est très bon! Vol.136

〜 おいしいパンの通信 〜

Boulangerie
C'est TRÈS BON

2015. 7. 20
Kaori Onishi

今働いているフランスのパン屋には、この店で20年働いて
いるというパン職人が居ますが、先日店一人で
仕事していた時、前のこの店で40年パン職人として働いていたというおじいさんが Bonjour!
と声かけてくれました。いろいろ話をして最後に彼はこう言いました。"この仕事は
とてもいい仕事だと思えば、びんはって!!" 6月末にパリにある Boulangerie des
Carmes の16才のお店を訪問した時彼も "この仕事で生きて、すばらしい仕事だ"
と言っていました。そういう職人さんとの出会いを経て、2014年私はこのパン屋の仕事の
すばらしさを的確に人に伝えてきたと思います。決して楽な仕事じゃなし大変だけれど、
たぶんこの仕事をやり続けている人達はみんないい人ばかりだと思っています。みんなそれぞれ
個性や個性は違いますが悪くは出会ったことがないと思います。以前フランスのパン職人の
若者が "この仕事は本物の仕事だと思えば、悪くは出会ったことがない。" と同じようなことを
言っていました。(彼は23才と若くは16才の仕事をしているから17年、本物と
思えばわかるかあるいい若者です。) たぶん私は人生に必要なものすべてこの仕事の
おかげで手に入る事ができました。たぶん宝物とたぶん幸せな気持ちで、
何度も泣いた。何度も笑った。(やい思いましたけど、たぶん今も今も
あり、この時も人生を思いっきり楽しめながら生きていこうと思っています。人生を
語り合えお互いに尊敬しあえる親友も、人生をかけるようなすばらしい夢を描け
るのも、将来の仕事を通じてやりたくなかったものがあっても、家族みんな
トビラの仲間がいます。フランスで働いて、生活しているのも、知らない国で
助け支えてくれる人がいるのも 書きだせばキリないです。この仕事に感謝しています。
自分がこの人生でやらなきゃいけないことは自分の心が知っています。なぜかずっと
好きなことになると、きっと意味があります。その自分の心の声を大切に
人生を生きて下さい。その声をきいてほしい、自分の利益計算も生き方ではなく
ほんとうにやりたいことを見つけて全力で生きて下さい。世の中の人々のためにやるべきこと
ではないです。でも夢は簡単には叶わないで、待っていても本物は展開しない。
自分自身で一歩を踏み出し、努力したくない限りは年に入りません。なぜなら
その夢の道が自分で大それたからです。その道のりの経験が自分を磨いて
くれる可能性がたぶん、たぶんこの世に幸せを感じる人を作ってくれます。
自分の目の前のことが一番大切であり、その本物の中からは学び、そして
一歩一歩進んでゆきます。フランス語を格闘中の私です。努力は最大限に歩むはなかなか
見えない...